

令和7年度第2回名取市図書館協議会議事録(案)

日 時	令和8年1月9日(金) 午後3時30分～4時40分
場 所	法務局名取出張所2階 会議室4
出席委員 4名	松本真奈美委員 齋藤 勇介委員 今野 一弥委員 本望 初枝委員
欠席委員 1名	山田 里香委員
事務局出席者	名取市教育委員会 教育長 鈴木 博幸 " 生涯学習課 課長 佐々木賢一 名取市図書館 館 長 加藤 孔敬 " 司 書 古瀬 さおり " 主 幹 菊地 栄一
傍聴人	なし

会 議 概 要

1 開 会

2 教育長あいさつ（鈴木教育長）

委員の皆様には、日頃より本市の教育行政、そして図書館運営に対し、多大なるご尽力を賜り、厚く御礼を申し上げます。現在、子供たちに iPad など導入され、ICT 化が非常に加速をしている。学びの場が大きく変化していると感じている。だからこそ、情報をこう読み解いて、自分で調べて、自ら考える力を養う読書、そして多様な知識に触れる図書館の役割は以前にも増して、より一層大事になっていると思っている。

図書館はもちろん言うまでもなく全世代に開かれた、生涯学習の拠点ではないかなという風に思っている。皆様にはそれぞれ専門的な立場から、本市の図書館がより、市民の暮らしを豊かにしたり、あるいは、地域の知識のインフラとして発展したりするための貴重な提言をいただければと思っている。本日は、忌憚のないご意見をよろしくお願ひしたい。

3 会長あいさつ(松本会長)

委員の皆様には、お忙しい中、お集まりいただき感謝申し上げます。

新年早々、海の向こうで驚くような出来事が起こったりしている。予測不可能な時代ということで、教育長先生の先程のお話にもあったように、図書館の果たすべき役割というのはますます大きくなっているのではないかと実感している。本日は、主な議事が3つある。名取市図書館の益々の発展のため、お知恵とお力添えをいただければと思う。よろしくお願ひしたい。

4 会議成立の確認

名取市図書館条例第 11 条第 2 項の規定により、委員の半数以上が出席しているため、会議は成立していることを報告。併せて、名取市審議会等の会議の公開に関する要綱第 2 条の規定により、公開の対象となることを報告。

(鈴木教育長、公務のため退席)

5 議事

条例第 11 条第 1 項の規定により、松本会長が議長となり議事を進行。

(1) 令和7年度上半期利用状況及び事業報告について

松本議長

それでは、(1) 令和7年度上半期利用状況及び事業報告について、事務局より説明をお願いしたい。

→スライドを使用しながら古瀬司書が説明。

トピックとして、蔵書になるまで図書館に本が並ぶまでについても説明。

松本議長

利用状況について、延べ利用者数、入館者数が前年比増加したということや、事業報告についてはスライドなども交えながら様々な行事を様々な工夫のもとに行っているという報告があった。

加えて、本が蔵書になるまでの流れ、普段見えにくい縁の下の力持ち的な仕事についても分かりやすく説明があった。それでは委員から、着座順に一言ずつ感想などいただきたい。

齋藤委員

多様な業務に感謝したい。実際にイベントの情報とか報告でよく聞いていたが、本の購入から貸出しに至るまでの流れについて丁寧に話しをいただいたのは貴重であり、ああいう業務があって、利用の方々に本が届いているということが分かり、さらにその業務がありながらこういった各種事業に取り組んでいると思うと、本当に頭が下がる思いである。

特に、様々な事業を実施しているが、子供向けの事業では、運動もそうだが、「本を読むことが楽しい」と感じないと、大人になってから中々やることは難しい。そういう部分では、小さい頃から行事を通して本に親しみながら「楽しい」という実感があるからこそ、生涯読書に触れるような経験になってくるのかなと思うと、そういう小さい子供たちから大人までしっかりと網羅していただき取り組んでいる。そして子供たちを巻き込んでいくと、その保護者も一緒に来るので、保護者世代の方もそれを通してまた本を読んでみようと思うと、忙しい合間ではあるが、読書の率が高まってくる。保護者が読むと子供にも影響してくるので、そういう意味ではいい循環が、図書館の取り組みの中から出来ているのではないかなという風に思った。

本望委員

小さい子供からどの年代にも向けて色々やっていることに感心した。特に、小学校高学年から中高生に向けての取り組みがどんどんレベルアップしているというのが分かった。POP 講座は大変良いと思う。学校でもできないことはないかもしれないが、図書館などでやって、自分が書いたその POP に関する本を最後に発表して、POP がなくても「ビブリオバトル」みたいに、自分の推し本を紹介しながらみんなで話し合うというのも大事だと思う。今年たくさん行われたようなので、これからも続けていけば良いなと思った。

また、お話し会に関わっているが、4 月のこどもまつりの時に、テーマを決めてやった。あれはとても良かった。何かある時に、お話し会ばかりじゃなくても、テーマを設けていたので、自分たちもそういう面で本を探したりする。それも刺激的で、色々考えを巡らせてやるので、それは良かったと思う。

あと、本の流れについて、些細な質問かもしれないが、選書する時は本を持ってきてもらうのか？

事務局(古瀬司書)

現物見計らいについては、新刊をダンボール箱で持ってきてもらっている。

本望委員

持ってきてもらって見るのが一番だと思うので、それはいいなと思った。最後に、今年度、小学校とかの貸出数は前年より減少したが、昨年度は増加していた。入館する人は増えているが、貸出は減っている。なぜか分からないが、でも図書館はすごくみんなに活発に活用されているし、開かれていると思う。

今野委員

多岐にわたる取り組みで、大変素晴らしい取り組みをされている。私も仙台高専で図書館長をしており、その図書館の利用をどうやったら増やせるかということについて色々調べ、AIまで活用して調べたが、今説明いただいた方法はAIで出てくるものが全て網羅されていて、どのくらい幅の広い取り組みなのかがすごくよく分かった。あと、質問が2点ほどある。年代別の貸出数で、高齢化なので、多分高齢の年代の方の人口は増えている。逆に子供の人口は少子化なので減っているかと思う。そういう影響も多少なりともあるのかなと思うが、そういった人口変動とこの貸出数の関係が感覚で分かるころがあれば教えていただきたい。結局、減る原因が、インターネット等の普及とか活字離れによる影響なのか、それとも人口変動の影響をかなり拾っているのか、どちらなのかというのが気になった。もう1点、これだけ大変多岐にわたる取り組みされていて、図書館スタッフの方が定常的に抱えている問題点とか課題等があったら教えていただきたい。

事務局(加藤館長)

2 ページ目の今野委員が質問された年代別の貸出数であるが、80代以上は微減になっているが、70代の方は増えている。来館し館内で本を読む方が結構多く、借りていかない方もいる。あと0歳から6歳の未就学児、7歳から12歳の小学生、あと13歳から15歳の中学生、16歳から18歳の高校生があるが、それぞれ減っている。

一方で、30代が減っているが、40代、50代の方々は、親子世代としてセットで捉えており、そのあたりを差し引いても貸出が減っている状況である。

見ていると、コロナ禍では短時間で来てたくさん本を借りていく傾向があったが、今は来る頻度が多いが、借りる冊数はそんなに増えていない。1人10冊まで借りられ、家族4人であれば40冊まで借りられるが、そこまで借りなくても、20とか30冊という感じで、ざっくりした言い方だが、コロナ禍の時は両手で持ってきたり、ダンボールで持ってきたりする利用者が多かった。どちらかという読む冊数は変わらないが持ち帰る冊数というのが減っているなど感じている。

職員の部分に関しては、行事等をやっているが、図書館友の会「なとと」の存在が大きい。本の装備の部分においても、かなりボランティアさんに作業をやっていただいている。「なとと」の方でも修理ボランティアの活動日が増えた。チラシを出したりして、ブッカーかけも増えている。

行事の部分においては、できるだけ図書館が全部やるということではなく、学校等に協力をもらうなどして、皆さんに力を借りつつ、こちら側で抱え込まないようにして、できる範囲でやっていく形が今の現状となっている。

今野委員

自分は理系なので、数字的に考えてしまうところがある。もしその人口変動みたいなものと、そういうのを並べてみると、もしかすると、はっきりした問題みたいなものが見えてくることもあるし、それが分かったら今度ピンポイントでその対策を打てるのかなと感じた。無理のない範囲でお願いしたい。

松本会長

委員の皆様方から重ねてご質問・ご意見等いかがか。それでは、議事の(1)についてはこれでひと段落と

させていただく。

引き続き、議事の(2)令和8年度名取市図書館運営方針案について、事務局から説明をお願いしたい。

(2) 令和8年度 名取市図書館運営方針案について

→加藤館長より説明。

松本会長

令和7年度の運営方針と比べると、その下線部分が具体的施策として付け加えられているということで、その具体的な方策の考えについても聞かせていただいた。それでは、委員からご質問・ご意見を頂戴したい。今度は今野委員からお願いしたい。

今野委員

びっくりしたのが、実は AI で「中規模の公共図書館の今後の役割」と調べたら、この項目がぴったり出てきた。結果として AI がすごいのか、スタッフの方が考えているのがすごいのか。結局、中規模の図書館の役割は、AI によると、「コミュニティとか人の居場所を作ること」というのが重要だという話だった。その6番でそれをきちっと下線をつけて入れているところが、これからの図書館には非常にマッチしており、目の付けどころとしてはいい方向に行っていると感じた。

本望委員

先ほど活動報告をいただき、やはり、高齢者に向けての対応はどうなのかと感じてしまうので、6番が加えられたのは良い。朝から新聞を読むため、毎日通っているような感じの方もいたりして、活用はしていると思うが、やはり、こういう場があればいいのかなと思う。しかし、高齢者の方が、こういう具体的に何かやりましょうという時に集まるかと言ったら、ちょっと違う。地域に「通いの場」があるが、それとは違うのか。ただ、図書館に来るとのこと、そして参加するということが、やっぱり最初、来年度は大変かとは思いますが、そういうのに慣れてくると来やすくなる。しつこく行きましょうと言わないと本当に来ない。自分も高齢者だが、そういうのをたくさん見ているので、そこが大事だと思う。

齋藤委員

私もこの6番の「通いの場、交流の場」というところが、やはり今後の図書館のニーズにすごくマッチしていると感じた。特に「交流の場」だけでも目標としてはいいのかもしれないが、「通いの場」と「交流の場」というのを分けているところにすごく意味があると思った。「交流の場」といったところは確かに交流をするということが目的であるが、「通いの場」だと別に交流を目的としなくても、その場所自体に意味を持ち、雰囲気であったり、来てみてそこで、交流はなくてもスタッフ皆さんと声が掛け合えたりとか、好きな本があったり、もうこの空間・時間の流れが好きだから自ら通いたいと思えるというようなところが、実は社会とつながる一助になったりするといったところもあるのかなと思う。先ほどの年代別の貸出冊数が減ってきているというところと、利用者数が逆に増加しているといったところは、もちろん理由があると思うが、ここも一つあるのではないかなと思う。滞在時間が長くなって、また明日続きを読もうと思えば借りなくてもいいわけである。そうすると必然的にいい意味での貸出数が減っていくみたいなどころはあるのかなという風に思ったところである。公民館別の利用者のところでも、下増田のところは348から200に減っている。でも実際行くと、去年よりもエントランスで本を広げて見ている子が格段に増えている。お迎えを待っている時とか、ちょっとスポ少の始まる前に寄ってみたよとか、そこで会話をしながら絵本を片手に読んで時間を待って、時間になったら置いて帰るという。でもそこには高齢の方もいて、また地域の方が雑談しながら本を手にとってというような姿が見えた時に、利用率と利用の仕方といったところは変化があるが、圧倒的に去年より本に触れる機会っていうのは増えているのかなと思う。この数字では減っているように見えるが、そこがすごく重要だなと思う。難しいかもしれないが、この方針を今度はそういった部分で、報告の中に活かせるようにすると良い。多分このままだと「冊数が減ったよ

ね」「利用率減ったじゃないか」みたいに見えてしまうので。そうではなく、今のここの交流とか通いの場っていうところのニーズに合わせて「これだけ利用率が増えた」「来館率が着実に増えている」、それがあからここ（貸出数）のところが減ってきているのではないかみたいなどころで細かくより報告できると、図書館の方針に沿った形でちゃんと今推移しているといったところが見えてくるのではないかと思った。

松本会長

この下線部の施策を付け加えたことは、これからの名取市図書館の姿に非常に呼応しているという、皆様のご意見かと思う。皆様方から重ねて何かご意見・ご質問等いかがか。

なければ、この図書館協議会として、令和8年度名取市図書館運営方針の本日提案いただいた案を了承するという事で決定する。

(3) 名取市子ども読書活動推進計画(第三次)策定について

松本会長

それでは議事の(3)名取市子供読書活動推進計画(第三次)策定について、資料を本日置かせていただいた。佐々木課長から説明があるということで、お願いしたい。

→佐々木課長より、第三次計画の素案について説明。

松本会長

この図書館協議会の委員として意見を申し上げるのはいつ頃までなのか。

事務局(佐々木課長)

来月にはさらに進んだ物を作るため、今月中ぐらいに意見があれば図書館へ連絡してほしい。

松本会長

大変手厚い推進計画案、素案ができてきたと思っているところである。ただいま説明があったように、今月中ぐらいを目途にご意見・ご質問などあったら図書館の方にお寄せいただきたい。

(4) その他

松本会長

それでは(4)のその他について、事務局の方からいかがか。

事務局(古瀬)

図書館利用案内、広報など11月号の図書館特集について案内。

4. 閉会

松本会長

その他、委員の皆様方からいかがか。それではこれをもって、本日の議事一切を終了させていただきたい。

6 閉会あいさつ(齋藤委員)

齋藤委員

今回の協議会の中では、本当に図書館の日々の活動が見えるような報告をいただいた。名取市の子供読書活動推進計画も第三次に進んでいるが、着実に市民の皆様、そして読書のニーズが高まるよう、この委員会でも意見を出し合いながら今後も進めてまいりたい。

7 閉会

事務局(菊地)より閉会を宣言して終了。